学校名	美里町立松久小学校
所在地	美里町駒衣３４１－２
電　話	０４９５－７６－１３５５

1　本校の概要

本校は自然環境に恵まれ、児童数は179名。児童は明るく純朴である。全学年が単学級で小規模のため、互いによく分かり合っており、学年の枠を超えて大変仲がよい。学区内には町立図書館があり、読書環境は比較的整っている。

2　本校の実践

(1)　実践の視点

○読書活動の充実

○読書環境の整備

○家庭や地域との連携

(2)　実践の概要

ア　年間を通しての取組

○年度初めに１年間の読書目標冊数を提示（低…100 冊、中…70 冊、高…50 冊）し、達成者を校長が表彰、顔写真を掲示する。

○毎月、児童の読書量を担任が集計する。月毎の読書目標冊数（年間の 10 分の 1）達成者に図書委員会が作成した栞を贈る。

○図書室の整備・改善を行う。

『今の学年で読んでほしい本』コーナーの設置。(児童が年齢相応の本を選べるようにするため、課題図書や『埼玉の子どもに読んでほしい本』等を置いている。)

○学級文庫に『国語の教科書に出ている本』を置き、国語学習にすぐに役立てたり、気軽に本を読めたりできる教室環境が整っている。

○月２回、地域ボランティアによる『読み語り』がある。ボランティアに対して児童が感謝の手紙を書き、２月に全校で「ありがとう集会」を実施している。

○町立図書館の団体貸し出しの利用。

○図書委員会による『図書室クイズ』の実施。(給食時)

イ　読書チャレンジ月間（10 月）の取組

○図書委員会の発表（児童集会）

・大型スクリーンを使った読み聞かせ。

・読み聞かせの内容に関するクイズ。

・図書委員会からのお知らせとお願い。

○目標（学級・個人）を決めて、本を読み終わる毎に「本だいす木」に実カードを貼り重ねる。(全児童)

○読書量の多い児童の表彰。(図書委員会)

○全家庭による親子読書の実施と実践カード提出。

3　成果と今後の課題

○今年度の一人当たりの読書量（４月～12 月）は約 89 冊になり、読書目標冊数を掲げて取り組むようになってから４年目になるが、年々増加してきている。

○年間の目標冊数に到達した人数は 12 月末までに 88 人になり､全校児童のほぼ半分になった。もう少しで達成できる児童も多く、全員が達成できるように今後も指導していく。

○毎月担任が読書量を集計することで、児童の読書に対する意識が持続でき、読書が習慣化してきた児童も多いが、なかなか習慣化できない児童もまだ見られる。